

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



第3期市川市教育振興基本計画
～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

令和5年度教育行政運営方針

～新年度の重要な取組の一部を紹介します～

令和5年2月市川市議会定例会の開催にあたり、田中教育長が令和5年度の教育行政運営にあたって方針演説を行いました。市川市教育委員会は、今後も「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の基本理念のもと、家庭・学校・地域と一体になり、子供たちを守り育てます。すべての子供がいつでも自身の能力を伸ばす機会が与えられ、一人ひとりの夢や思いを実現する教育を進めていきます。
【教育総務課】

生涯を通じた学び

- ・公民館では、対面型及び、オンライン型の講座をそれぞれの利点を生かして実施します。
- ・図書館内の学習スペース確保や自動車図書館の活用など快適に利用できるサービスを充実させます。
- ・北下瓦窯跡の公有化を進め、国府台公園野球場の国庁関連遺構の発掘調査を続けます。

学校における学び

- ・デジタルツールを活用し、指導の個別化・協働的な学びを進め、学校図書館を活用した読書教育、小学校高学年における教科担任制を推進します。
- ・体力向上、食育及び体験活動の充実を図り、包括的な健康教育を推進します。
- ・少人数の学級編成、特別の教育課程などによる適切な指導及び支援を行います。

教育環境の整備

- ・いじめの未然防止、不登校児の居場所づくり、校則・制服の見直し、放課後の居場所の提供など誰一人取り残さない学校づくりに努めます。
- ・子供たちの食の環境を整えるため、給食費の無償化を全市立学校55校で実施します。
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の一層の活用を進めます。
- ・幼児期と小学校の切れ目のない教育支援に努めるとともに、教育課程の連続性・系統性を重視した小中一貫教育を進めます。
- ・家庭の状況により教育格差が生じないよう様々な支援を行います。
- ・スクールロイヤーの活用やスクール・サポート・スタッフの配置、学校部活動の地域移行の推進など、教育活動に専念できる環境を整えます。

教育委員学校訪問 須和田の丘支援学校

須和田に輝く 生徒たちの作業風景



教育委員会では、学校の現状や児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握して市川の教育政策等に反映させていくために、教育委員が学校訪問を行っています。

須和田の丘支援学校へは、島田由紀子教育委員と広瀬由紀教育委員が訪問し、高等部の作業班（コンクリート班・陶芸班・木工班・手工芸班・織物班・農園芸班）の参観をしました。教育委員は、農園芸班が育てているたくさんの大きな大根を見て「立派ですね。」と声をかけていました。すると生徒からは「ありがとうございます。」という言葉とともに、葉が萎れてしまった一本の大根を掲げ「失敗してしまっただけです。」と栽培の難しさを伝えていました。



教育委員からは、生き生きと取り組む生徒の姿や各作業班の作品の出来栄に感心したこと、また、生徒個々の気持ちを大切に、良い面をより引き出していく先生方の細やかな配慮の大切さを改めて感じたとの言葉がありました。

【教育センター】

自閉症・情緒障がい

特別支援学級を開設

特別支援教育推進に係る環境整備のため、現在、市立学校に知的障がいの特別支援学級を31校、自閉症・情緒障がいの特別支援学級を8校、肢体不自由の特別支援学級を1校設置しています。

個に応じた教育的支援のニーズが高まっていることから、障がい種や地域のバランスを考慮し、令和5年4月より下記の3校に特別支援学級を開設することになりました。【義務教育課】

特別支援学級【自閉症・情緒障がい】

- ◆市川市立平田小学校
(所在地)市川市平田3-28-1
- ◆市川市立行徳小学校
(所在地)市川市富浜1-1-40
- ◆市川市立柏井小学校
(所在地)市川市柏井町1-1149-1